中学校部活動の地域展開に関するご意見・ご質問等について

令和 8 年 11 月 13 日更新

ご意見・ご質問等	回　答
【保護者説明会】 　これまで子どもたちにどのような形で説明を行ったのか。	令和 8 年 7 月に児童・生徒及び保護者を対象にアンケートを実施し、その際に部活動の地域展開について説明を行いました。アンケートで寄せられた意見等については、一部の回答にとどまっている。また、アンケート結果から、小学生の認知度が低かったことから、速やかに児童向けの周知チラシを作成し、説明動画と併せて周知を行いました。
【保護者説明会】 　大洲市の地域クラブ活動の認定はいつから実施するのか。	令和 9 年 4 月 1 日から認定を開始する予定です。
【保護者説明会】 　現在活動している地域クラブも申請すれば、認定を受けることができるのか。また、新規に設立する地域クラブに対する支援策などはあるのか。	新たに立ち上げる地域クラブについても、認定要件を満たしていれば認定の対象となります。また、現在、改革実行期間における国の補助制度を活用し、認定地域クラブ活動に対する支援策について検討を進めているところです。
【保護者説明会】 　人材バンクの指導者は何人集まったのか。軟式野球はいるのか。指導者募集をもっと周知方法を工夫してはどうか。	移行型地域クラブ活動の指導者として現在８名の登録があります。軟式野球については１名となっており、学校の教職員に対しても個別に説明し、協力をお願いしているところです。指導者の確保に向けては、現在の募集方法に加え、市の広報紙やホームページ、SNS なども活用し、幅広い世代に情報が届くよう周知方法を工夫していきます。
【保護者説明会】 　部活動移行型と地域立ち上げ型で同じ競技があるが、その違いは何か。どのような地域クラブ立ち上がって、大会に出られるのかなどをまとめてもらったら子供たちも選択しやすくなるのではないか。	移行型地域クラブ活動については、現在、７種類の団体競技を対象に、市が主体となって設立を目指しています。一方、地域立ち上げ型は、地域や民間が主体となって設立・運営する地域クラブです。これらの地域クラブは、市の認定を受けることで、中体連が主催する大会にも出場できるようになります。 　また、これらのほかにも、営利を目的としたクラブチームなど、さまざまな活動の形態があります。 　今後、地域からも同じ競技や多様な競技・文化活動の地域クラブが立ち上がることで、子どもたちの活動の選択肢が広がり、それぞれの希望に応じた活動ができる環境につながると考えています。

【保護者説明会】 学校から完全に手が離れるということか。地域の指導者と子どもの間でトラブルがあった場合はどこが責任を持つのか。	地域クラブ活動になっても、学校との関係が完全になくなるわけではありません。子どもたちの活動状況などについて、引き続き学校と連携していきます。 指導者と子どもの間でトラブルが発生した場合は、まずは地域クラブ内での解決を基本としますが、必要に応じて教育委員会にも相談できるよう相談窓口を設けるなど、子どもたちが安心して活動できる体制を整えていきます。
【保護者説明会】 認定要件にある 2 日以上の休養日、週 11 時間程度で、費用面では月 4 回で 2，000～3，000 円となっている。何を優先しているのか矛盾が生じている。 どのくらいの活動頻度を考えているのか。月 4 回で 2,000～3,000 円が月会費の目安と説明があったが、今後、平日の活動日が増えるとどうなるのか。	月額 2,000～3,000 円という金額は、月４回程度の休日の活動を想定した目安です。 活動頻度については、認定要件である週２日以上の休養日や週 11 時間程度の活動時間を基本とし、地域クラブ活動ごとに子どもたちの負担にも配慮して設定していきます。 今後、平日の活動が加わり、活動回数が増える場合には、活動内容や回数に応じて月会費を見直すことも考えられますが、保護者の負担にも十分配慮しながら検討していきます。
【保護者説明会】 学校で実施している部活動の時間と違い、サッカークラブは活動時間が夜間となっているが、これについて教育委員会としてはどう考えているか。	地域クラブ活動は、部活動の教育的意義を継承する観点からも、子どもたちの生活リズムや健康面に配慮した活動時間とすることが重要と考えています。 一方で、実証事業の結果からも、複数の学校や地域から生徒が集まることや、指導者の確保などを考えると、これまでの学校部活動と同じ時間帯で活動することは難しい面があります。 サッカークラブについては、保護者の送迎を前提に、夜間の活動であっても 20 時までとするなど、子どもたちへの負担に配慮して運営しています。
【保護者説明会】 身近に活動できる地域が中学校ではないか。そこで団体競技ができないのに地域に増やすというのは矛盾を感じる。増やすのか、減らすのか方向性をはっきりしてもらいたい。 身近で活動できる場所を増やしていくというのは、つじつまが合わないのではないか。	現在、少子化により単独の中学校だけでは団体競技のチーム編成が難しくなっている状況が増えています。そのため、まずは複数の学校の生徒が一緒に活動できる１チームの設立を目指し、試合などの経験機会を確保したいと考えています。 一方で、身近な地域で活動できる場所を増やしていくことも重要と考えています。実際に、希望する競技が市内にないため、市外のクラブチームに通っている生徒もいます。 市としては、単に活動場所や団体数を増やすのではなく、子どもたちが希望する競技にできるだけ市内で取り組める環境を整え、活動の選択肢を広げていきたいと考えています。

【保護者説明会】 　活動場所として、サッカー等と違い水泳に関してはスクールでの活動でないと無理ではないのかと思う。スイミングスクールと認定地域クラブとの違いはどうなるのか。	水泳については、学校のプールを利用した活動は施設の管理などの面から難しく、既存のスイミングスクールを活用した活動が現実的と考えています。 　また、現在、中体連に地域クラブとして登録している団体の多くはスイミングクラブとなっています。 　一方、認定地域クラブは、一定の認定要件を満たし、市の認定を受けて活動する団体であり、一般的なスイミングスクールとは制度上の位置付けが異なります。月謝などの費用負担も課題となるため、今後、認定を受けるクラブが減少する可能性もあります。
【保護者説明会】 　令和 12 年度に子供がやりたい地域クラブが中学生になったときにできていなかったら部活動に入ることになるのか。	令和 12 年夏には平日の部活動も終了する予定としているため、その後は学校部活動に入ることはできません。子どもたちが希望する活動に取り組めるよう、文化部も含め、指導者の確保や地域の協力を得ながら、できるだけ早い段階で地域クラブの立ち上げを進めていきます。
【保護者説明会】 　指導者募集の要件を教えてほしい。	指導者は、原則 18 歳以上で、指導する競技や文化芸術分野の活動経験・指導経験がある方などを対象としています。また、部活動の教育的意義を理解し、暴力やハラスメント等を行わないことを誓約するとともに、市が指定する研修を受講していただくことなどを要件としています。
【保護者説明会】 　休日から地域展開を行うということで、平日と休日の指導者が違ってくると思われるが、連携はどうやって行うのか。 　今後の情報の公開、提供についてはどうやって行うのか。	平日と休日で指導者が異なる場合もあるため、学校と地域クラブが連携し、指導方針や活動内容、運営方針などを共有することで、子どもたちが安心して活動できる体制を整えていきます。 　また、今後の情報提供については、市のホームページや動画、リーフレットなどを活用し、決定した内容を随時お知らせしていきます。情報の周知方法についても、皆さまからご意見やアドバイスをいただきながら、より分かりやすく伝えられるよう工夫していきたいと考えています。
【小学生アンケート】 　サッカー、バレーボール、卓球、軟式野球、ドッジボール、ギター、ドラム、合唱、陸上、バスケットボール、カヌー、美術、ダンス、ソフトボール、よさこいなど、いろんなクラブをつくってほしい。	大洲市では、みなさんが「やってみたい！」と思うスポーツや文化活動に出会えるように、いろいろな地域クラブをつくっていきたいと考えています。 そのためには、教えてくれる人や活動する場所、一緒に活動する仲間などが必要です。 　全部のクラブをつくることは難しいですが、みなさんの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、少しずつ活動の種類を増やしていきます。
【小学生アンケート】	みんなで練習して、スポーツの大会や文化活動のコンクールなどに参加し、目標に向か

大会やコンクールにでてみたい。	って挑戦することも、地域クラブ活動の楽しみの一つです。自分の目標に合わせて、地域クラブ活動を選択できるようにしていきます。
【小学生アンケート】 ゆっくり休みたいから、地域クラブは強制参加ではなく、自由参加にしてほしい。	地域クラブ活動は、必ず参加しなければならないものではありません。 スポーツや文化活動をしたい人は地域クラブに参加したり、家でゆっくり過ごしたり、ほかの習い事をしたりするなど、自分に合った過ごし方を自分で選ぶことができます。
【中学生アンケート】 部活動がなくなることは悲しい。	部活動は、仲間と一緒にがんばったり、思い出をつくったりする大切な場所です。今までの部活動とは形が変わりますが、地域クラブでも仲間と一緒に活動し、みなさんが安心してスポーツや文化活動を楽しみ、挑戦できる環境をつくっていきます。
【中学生アンケート】 学校で参加できるイベントや行事などを増やしてほしい。	学校で友だちと一緒に楽しい時間を過ごしたり、新しいことに挑戦したりする機会は大切です。みなさんの意見を聞きながら、学校生活がより楽しく、思い出に残るものになるよう、さまざまな活動を考えていきます。
【中学生アンケート】 部活動が終了する時期をはっきりしてほしい。	大洲市では、準備ができた部活動から順番に地域クラブ活動へ移行し、令和 10 年の夏休みが終わるまでに、休日（土・日・祝日）の部活動を終了する予定です。そのため、令和 10 年の 2 学期からは、休日の部活動がなくなる予定です。 また、令和 12 年の夏休みが終わるまでに、平日の部活動も終了する予定です。
【中学生アンケート】 勉強が苦手でも部活でのチャレンジ精神などが評価されることで、高校受験にも影響があるのではないか。	高校受験でどのようなことを評価するかは、それぞれの高校が決めます。なお、認定地域クラブは学校と連携して活動するため、活躍や活動の様子などは中学校と共有することになります。
【保護者アンケート】 今後、地域展開していくのであれば、身近な地域に、各地域にクラブ活動を増やしてほしい。	活動場所までの距離や保護者の送迎などが負担となり、子供たちが希望する活動に参加しにくくなることは、市としても課題と考えています。市外まで行かなくても希望する活動に参加できるよう、スポーツ少年団や文化団体などと連携し、市内で活動できる地域クラブを少しずつ増やしていきたいと考えています。
【保護者アンケート】 月謝等の負担はどのくらいになるのか。活動が増えると金額も上がるのか。	地域クラブ活動の月謝等は、活動内容や指導者、活動場所、活動回数などによって異なるため、一律には決まっていません。国では、保護者の負担を抑える観点から、休日の地域展開として、月額 2,000～3,000 円程度を目安としています。 また、平日の活動が加わることで月謝が上がる可能性はありますが、活動回数に応じて必ず上がるものではありません。市でも、この目安等を参考に、できるだけ保護者の負担を軽減できるよう検討していきます。

【保護者アンケート】 地域クラブ活動は、体力づくりや楽しさを感じる場所になってほしい。	地域クラブ活動は、勝つことや高いレベルを目指すことだけを目的とするものではありません。スポーツや文化活動を楽しみながら、体力づくりや仲間との交流を通して、子どもたちが楽しく活動できる場となるよう環境づくりを進めていきます。
【保護者アンケート】 意見をたくさん聞いて、進めてほしい。	部活動の地域展開は、子どもたちや保護者の皆さまにとって大きな変化となるため、皆さまのご意見を聞きながら進めていくことが大切だと考えています。今後も、アンケートや説明会などを通して、さまざまなご意見を伺い、地域の実情や子どもたちの声を大切にしながら、よりよい環境づくりを進めてまいります。
【保護者アンケート】 平日、クラブ活動で大会に出る場合、学校は公欠扱いになるのか。	平日の地域クラブ活動で大会に参加する場合の学校の出欠の取扱いについては、現時点では決まっていません。他市町の取扱いも参考にしながら、学校と協議し、大会の種類や参加する大会の位置付けなどを踏まえ、公欠の対象となる条件を明確にした上で、今後決定していきます。
【保護者アンケート】 文化部はどうなるのか。	文化部についても、地域で活動できる環境づくりを進めていきます。現在は、吹奏楽部について、学校や関係団体と話し合いながら、地域での活動の方法を検討しています。 その他の文化活動についても、コミュニティセンターなどと連携し、活動できる場所や機会を少しずつ広げながら、今後は、子どもたちが参加できる活動の情報をお知らせしていきます。
【R8.10.16】 よさこい部を作成してほしい。 愛媛よさこい祭りも大洲市から参加するのは２チーム。他は市外、県外なので、開催している大洲市のチームを増やし盛り上げたい。	ご意見ありがとうございます。 よさこい部を作ってほしいというご意見については、YOSAKOI の祭りも開催されており、関心や参加を希望する声も多く聞いています。地域クラブ活動は、活動を担う団体があって成り立つことから、こうした声を関係団体等に伝え、団体の意向や体制なども踏まえながら、活動の実現について相談してまいります。
【R8.10.2】 よさこい部があったらいいです。	
【R8.10.2】 サッカーみたいな地域クラブの中によさこい部があるといいな。	
【R8.10.1】 よさこい部を作ってほしい！	

【R8.10.1】 ・地域クラブには誰でも入れるように、他の中学の部活に参加できるようにしてほしい。 (例)南中生徒が、北中の部活に通う ・南予以外に母体があるクラブチームは、中体連主催の大会(総体など)には出られないようにしてほしい。練習量や大会の数などに制限がある地域クラブと、制限のないクラブチームでは力量に格差がありすぎて、地域クラブのモチベーションが上がらなくなってしまう。 ・どのようなクラブが増える予定か、それはいつ頃か、予定だけでも教えてほしい。	ご意見ありがとうございます。 １つ目の御質問ですが、学校部活動を地域クラブへ移行する「部活動移行型の地域クラブ」については、現在、サッカーでは全中学校の生徒を対象に募集する形で取り組んでいます。他の競技についても、学校区にとらわれず市内のどの中学校からでも参加できる仕組みを目指していきます。 ただし、参加希望者が非常に多くなった場合には、練習場所や指導者の確保、活動の安全面などを考慮し、地域を分けてチームを編成するなど、競技ごとの状況に応じた対応が必要となる場合があります。 ２つ目の地域クラブ活動と、いわゆるクラブチームとの間では、競技力に差が生じ、地域クラブの活動意欲が低下するのではないかというご心配についてですが、今後、中学校体育連盟（中体連）が主催する大会については、参加できる地域クラブ活動を一定の基準を満たした「認定地域クラブ活動」に整理していく方向で、全国的に制度の見直しが進められています。これにより、活動環境や指導体制など一定の基準を満たした地域クラブ活動と、競技力の向上を主な目的とするクラブチームとのすみ分けが、一定程度図られていくものと考えます。 最後の御質問ですが、現在の学校部活動をもとに、市が創設を目指している７種類の地域クラブ活動をはじめ、既に活動しているクラブや、スポーツ少年団に中学生も参加できる仕組みづくりを進めていきます。 また、スポーツに限らず、地域イベントへの参加や情報発信、ボランティア活動などを行う地域クラブ活動もあることから、他市町の事例も参考にしながら、子どもたちがさまざまな活動に参加できる場を広げていきたいと考えています。 今後も、子どもたちや保護者、地域の皆さんのご意見を伺いながら、関係団体等と連携し、新たな地域クラブ活動が生まれるよう取り組んでまいります。
【R8.9.27】 これまで放課後の部活動は、生徒たちにとって体力づくりや技術の向上だけでなく、仲間との絆を深めたり、安心して過ごしたりする大切な時間にもなっていました。 認定地域クラブへの移行によって放課後の部活動がなくなることで、放課後の時間を持て余す子どもが増えるのではないかと心配しています。 また、活動時間が夕方から夜間に移ることで、子どもたち	ご意見ありがとうございます。 部活動が、仲間との絆を深め、安心して過ごすことのできる大切な居場所となっていたことは、十分に認識しております。 部活動の地域展開を進めるに当たっては、子供たちが放課後を安心して過ごせる居場所を確保するとともに、スポーツや文化活動に親しむ機会を、家庭の状況にかかわらず、できる限り確保していくことが重要であると考えております。 そのため、認定地域クラブ活動の充実に加え、学校の教育活動時間内における活動の可能性についても検討するとともに、コミュニティセンターなどを活用した多様な活動の場

の睡眠や休息の時間が削られ、学校生活との両立が難しくなるのではないかという懸念もあります。 　さらに、保護者にとっても、平日の夜間に活動する場合は、仕事をしながらの送迎や当番などの負担が増えることが考えられます。その結果、親子でゆっくり過ごす時間が減ってしまうことも心配です。 　家庭によっては、活動費用や送迎、時間的な都合などが参加のハードルとなり、希望していても地域クラブに参加できない子どもが出てくる可能性があります。そうなると、スポーツや文化活動を経験できる機会に格差が生まれ、二極化につながるのではないかと危惧しています。 　子どもたちが安心して放課後を過ごし、誰もが平等に活動の機会を得られる仕組みを整えた上で、地域クラブへの移行を進めていただきたいと思います。	や、地域の中で子供たちが安心して過ごせる居場所づくりについて、関係部署や関係団体と連携しながら検討してまいります。 　また、地域クラブ活動の整備に当たっては、活動時間や休養日、参加に係る費用や送迎などの負担にも配慮し、子供たちが無理なく学校生活と活動を両立できる環境づくりに努めてまいります。 　今後も、子供たち一人ひとりが自分に合った過ごし方や活動を選択でき、誰もが安心して成長できる環境を整えられるよう、地域の実情を踏まえながら、部活動の地域展開を進めてまいります。
【R8.9.10】 　先生方の負担を軽減させるためにも早く地域展開をお願いします。 　毎度ながら、大洲市は動きが遅くないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 　先生方の負担を少しでも軽減するため、部活動の地域展開を早く進めてほしいというご意見は、私たちも大切に受け止めています。 　本市では現在、地域クラブの設立や指導者の確保、学校や関係団体との調整など、地域展開に向けた取組を進めています。準備が整った活動から、できるだけ早く地域クラブ活動につなげていくこととしています。 　地域展開を進めるためには、指導者や活動場所、運営体制などを整え、生徒が安心して活動できる環境をつくることも大切です。すべての部活動を一度に地域へ移すことは難しい面もありますが、できるところから着実に進めていきたいと考えています。 　先生方の負担軽減につなげることはもちろん、子どもたちの活動機会をしっかりと確保できるよう、スピード感を持って地域展開に取り組んでまいります。 　今後も、学校や地域の皆様のご意見を伺いながら、よりよい活動環境をつくれるよう取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【R8.7.18】 　大洲地区に女子バスケットボールのクラブチームを作ってほしいと思います。 　現在、うちの娘は小学生でバスケをしていますが、休日の部活動、平日の部活動がなくなってくると、女子がバスケットボールを続けられる環境は限られてきてしまいます。市外にでればそういった環境はありますが、送り迎えなどを考えても、大洲に作ってもらいたいです。 　大洲地区の子どもたちが大好きなバスケットボールを長く続けられるよう、女子バスケットボールクラブチームの設立をぜひ実現してほしいと願っています。	ご意見ありがとうございます。 　教育委員会では、生徒がこれまで親しんできたスポーツや文化活動をできるだけ継続できるよう、部活動で行われてきた競技等を地域クラブ活動へ移行できるよう準備を進めております。 　女子バスケットボールにつきましては、市内のスポーツ少年団において多くの小学生が活動していることから、中学校進学後も継続して活動できる環境づくりは重要な課題であると認識しております。 　いただいた御意見を踏まえ、競技団体等と連携しながら、指導者の確保や運営体制の構築について検討を進めるとともに、女子バスケットボールの地域クラブ設立も視野に入れ、子どもたちが地域で継続して活動できる環境づくりに努めてまいります。